

環境リサイクル肉牛協議会第17回総会
特定非営利活動法人 環境リサイクル肉牛協議会第8回通常総会
議案書

2016年6月4日(土) 午前10時00分から ホテルグランテラス帯広
会議次第

1. 総会成立の要件 出席者数 委任状数 有効成立率
2. 開会挨拶
3. 議事録署名人1名の選出、書記1名選出
4. 議事
 - 1) 第1号議案 2015年度事業報告及び収支決算に関する件
 - 2) 第2号議案 2016年度事業計画及び収支予算に関する件
 - 3) 第3号議案 そのほか
役員改選は無 2年任期のため～2017年3月31日まで
5. 閉会

第1号議案

I. 2015年度事業報告

1. 2015年度会員募集 (2016年3月末)

個人会員	16名 (-1)	
団体会員	13団体(±0)	合計 29(-1)
内訳)	生産者・生産者団体	9(-1)
	食肉流通業者	4
	消費者団体	1
	学研・指導機関	9(+1)
	飼料業者	6(-1)

2. 総会・理事会等の開催

1) 第16回総会

- 2015年6月6日(土) ホテルグランテラス帯広 参加者：20名
- ・2014年度事業報告・2014年度決算報告
 - ・2015年度事業計画(案)・2015年度予算(案)
 - ・役員改選(現役員再選 理事欠員補充：青山氏
2年任期 2015/4/1～2017/3/31)

2) 理事会

- 第1回 2015年6月5日(金) 17:00～18:30 総会前打合せ
- 第2回 2015年8月12日 釧路 榛澤牧場/
- 第3回 2015年9月24日 JA おうむ

第4回 1月29日(金) 17:00~18:30

新得町 北海道畜産試験場 研修施設 出席予定：8名

①シンポジウム総括

②補助関連

3) シンポジウム実行委員会 畜産試験場開催；共同開催にて打合せ

4) カルビー ポテトピール検討会；開催できず

3. 学術情報の収集と肉牛飼養技術研修会の開催

1) 学術情報の収集

関連加入団体 8ヶ所 年会費 27,500円

肉用牛研究会 (事務局/京都大学 年会費/3,000 個人窓口/左)

家畜栄養生理研究会(九州大学高原実習室 4,000 左)

日本畜産学会 (東京 公益社団法人 4,000 左)

日本産肉研究会 (東北大学大学院農学研究科 5,000 団体)

畜産システム研究会(京都大学畜産資源学 3,000 花房)

北海道畜産草地学会(2,500 左)

北海道畜産技術連盟(北海道酪農畜産協会 4,000 左)

北海道・農業と動物福祉の研究会(2,000 左)

2) 肉牛飼養技術研修会の開催

第1回 6月6日(土) 10:00~場所：ホテルグランテラス帯広 参加15名

・グラスサイレーシ給与による黒毛和種去勢牛の育成肥育Ⅲ

道総研 畜産試験場 遠藤 哲代

第2回 1月29日(金) 14:00~場所：新得町北海道畜産試験場内研修施設 10名

・北海道アンガス牛振興協議会飼養実態調査結果について

道総研 畜産試験場 佐藤 幸信氏

・とうもろこしサイレーシ給与による肥育(仮題) 道総研 畜産試験場

・シンポジウムの総括および当会の次年度に向けた事業計画検討会

・JRA 畜産振興事業の申請内容肉牛研究の概要

畜

4. 第12回資源循環型牛肉生産シンポジウムの開催

(1) 開催形式：北海道肉牛研究会第20回研究大会の開催の共催

(2) 開催場所：道総研畜産試験場(新得町)

(3) 開催時期：平成27年11月6日(金)~11月7日(土)

(4) 内容： 「北海道型肉牛生産の課題と展望」

・基調講演：国内の牛肉生産地における牛肉の品質および安全性の構築を目指す取り組み

宇都宮大学・教育学部 准教授 松村啓子 氏

・話題提供：

- (1) 十勝和牛の産地ブランド化への取り組み
十勝農業協同組合連合会 畜産部 酪農畜産課 調査役 由佐 哲朗 氏
 - (2) 十勝清水コスモファームでの取り組みについて
有限会社コスモ マネージャー 安藤 智孝 氏
 - (3) TPP 妥結前夜 北海道肉牛の残された手段～近況マーケット分析からシミュレーション～ 環境リサイクル肉牛協議会 理事 花房 俊一
- 総合討論
参加者数：シンポジウム 約140名 現地検討会 50名

5. 機関誌発行・ホームページ編集 定款5条1-⑤

- 1) 月刊情報誌「e-びーふ NEWS 北の牧場から」 毎月発刊する。
環境リサイクル肉牛協議会報（旧アグリサイクル）は休刊。
- 2) ホームページ:インターネットを利用し情報を公開・発信する体制の充実を図る。

6. 「e-びーふ」認証事業 定款5条1-①

- 1) 新たなe-びーふ認証農家の発掘できず。
- 2) 「e-びーふ」の商標登録10年間権利保持(2023年まで)

7. 肥育モデル作成事業 定款5条1-③

- 1) 飼料事業の検討：
- 2) アンガス飼養実態調査・統一飼養マニュアル作成
北海道アンガス牛振興協議会との連動
各牧場定期調査・分析・検討会の3回開催
・2015年7月21日(木)
宮北牧場、内藤牧場アンガス飼養農家視察
視察同行者；佐藤、花房、青山
・2015年8月12日(水)～13日(木) 視察地；道東 標茶、釧路地区
目的；標茶町役場 池田町長との面談、TACS しべちゃ視察、榛澤牧場の視察検討
視察同行者；榛澤理事長、佐藤、花房、奈良岡2人、瀬野 以上6名
・2015年9月24日(木)～25日(金)
JA おうむ ほかアンガス飼養農家視察
視察同行者；榛澤、嶋村、佐藤、花房、奈良岡、青山、瀬野、江川、森井以上9名

8. 2015年度収支決算報告

別紙資料 決算書・監査報告、貸借対照表および財産目録参照。

第2号議案

Ⅱ. 2016 年度事業計画

1. 会員募集

目標会員数 35 名以上を目指す。

2. 総会・理事会の開催

- 1) 2016 年度第 17 回総会(NPO 法人第 8 回通常総会)
- 2) 理事会、事務局会議は必要に応じ開催する。

3. 学術情報の収集と飼養技術研修会の開催 定款5条1-②

- 1) 肉牛関連学会・研究会の学術情報調査。会として参画する。
- 2) 自給飼料・副産物活用型牛肉生産に関する飼養技術研修会の開催。

4. 第 13 回資源循環型肉牛生産シンポジウム 2016 の企画・開催

定款5条1-④

- 1) 2016 年 11 月 11 日(金)
開催場所；とかちプラザ
- 2) テーマ：「自給率 100%肉牛生産の挑戦」

5. 機関誌発行・ホームページ編集 定款5条1-⑤

- 1) 「e-びーふ NEWS 北の牧場から」の月刊情報誌の発刊。
- 2) ホームページ・インターネットを利用し情報を公開・発信する体制の充実を図る。

6. 「e-びーふ」認証事業の活性化 定款5条1-①

- 1) 新たな e-びーふ認証農家の発掘。
- 2) 認証適格農場の実態調査。
- 3) 「e-びーふ」の商標の活用

7. 肥育モデル作成事業 定款5条1-③

- 3) 飼料事業の検討：
 - 4) アンガス飼養実態調査・統一飼養マニュアル作成
北海道アンガス牛振興協議会との連動
各牧場定期調査・分析・検討会の開催

8. 2016 年度予算案

(別紙 予算書 参照)

第3号議案 その他

1. 協議会の運営体制

- 1) 総務担当 協議会の運営、会計事務 (事務局)
NPO 法人関連事務 (外部委託：竹川会計事務所)
- 2) 肉牛関連学会・研究会の学術情報調査 (左理事)
- 3) 飼養技術研修会の運営 (畜試)
- 4) 資源循環型肉牛生産シンポジウムの運営 (畜試・事務局)
- 5) e-びーふ news 編集・ホームページ担当 (事務局)
- 6) 「e-びーふ」認定委員会 (畜試)
- 7) 補助事業申請・運営 (事務局)
- 8) 飼料事業の推進 (畜試・事務局)
- 9) アンガス飼養実態の調査分析検討会の開催 (畜試・事務局)

事務局体制の充実：

2. 肉牛事業について 経産牛の肥育事業；引き続き調査

以上。